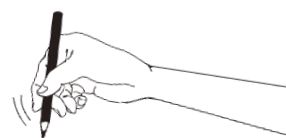


Hiroshima NOW

1

2024

やさしい日本語 No. 21

せいかつ やく た
生活の役に立つし にほんご にほん
知っておきたい日本語と日本のことにほん せいかつ し やく た にほんご まいつき しょうかい
日本の生活で 知っておくと役に立つ日本語を、毎月1つ紹介します。こんげつ にほんご
眼鏡 今月の日本語：とんどにほん しょうがつ しゅうかん
日本の正月には むかしから ずっとやっていること（習慣）が たくさんあります。かどまつ かざ いえ しょうがつ
「門松」や「しめ飾り」を 家のいりぐちや ドアにかざるのも 正月にすることです。また、1
がつふつ か しょうどう じ か しょうがつ
月2日には 書道<ふで>で 字を書く<>をします。このことを「書き初め」といいます。とんども しょうがつ まいとし がつ にち しょうがつ かどまつ
とんども 正月にすることのひとつです。毎年1月15日にします。正月にかざった 門松やしめ
かざ か ぞ か さいぎちよう ひろしま
飾り、書き初めで書いた紙を 火でもやします。これをほんとうは「左義長」といいますが 広島で
は「とんど」と よびます。よびかたは ばしよ や
ぶとところもあります。しょうがつ たか やま いえ
正月には かみさまが 高い山からやってきて みんなの家に しあわせをはこんでくれます。こ
のかみさまのことを 「歳神様」といいます。家のいりぐちや ドアにかざった 門松やしめ飾りは
としがみさま いえ い かどまつ かざ としがみさま
歳神様が みんなの家に行くための しるしになります。 門松やしめ飾りをかざるとは 歳神様
に入ってくださいと つたえる意味もあります。しょうがつ としがみさま こく かえ
正月にやってきた歳神様が とんどのけむりで かみさまの国に帰るといわれています。そのた
め、とんどの火が ひが そら たか とし
とんどの火が 空におかって高くあがると その年はよいことがあると いわれています。とんどの火で や た とし びょうき げんき
とんどの火で もちを焼いて食べます。このもちを食べると その年は 病気をしないで 元気に
すごすことができる と いわれています。また 書き初めで書いた紙をもやすと 字をじょうずに書
くことができる と いわれています。